

公益財団法人長寿科学振興財団「高齢社会課題解決研究（AI）への助成」に採択

—高齢者を「共同デザイナー」とする AI 開発プロジェクト「iCoRP」を始動—

iU(情報経営イノベーション専門職大学、東京都墨田区、学長:中村 伊知哉、<https://www.i-u.ac.jp>)は、公益財団法人長寿科学振興財団(愛知県知多郡東浦町)が実施する「高齢社会課題解決研究(AI)への助成」事業(助成額最大1億円/2年間)において、「iCoRP:世代間共創ラピッドプロトタイピング(世代間学習を活用した人間中心 AI 設計の実践)」を提案し採択されました。

本プロジェクトは iU がプロジェクトリーダー機関として主導し、2026 年 3 月から 2028 年 2 月まで実施します。

■プロジェクトの概要：iCoRP（世代間共創ラピッドプロトタイピング）

■解決すべき社会課題

日本は 2040 年に国民の約 35%が 65 歳以上となる世界でも有数の超高齢社会です。一方、AI 開発は技術先行・若年層中心で進んでおり、高齢者の視点やニーズはほとんど考慮されていません。その結果、60 代の生成 AI 利用率はわずか 15.5%(総務省「情報通信白書」2025 年)にとどまり、約 2000 万人以上の高齢者がデジタルデバイスに不慣れな状況にあります。

■iCoRP (intergenerational Co-creation Rapid Prototyping) のアプローチ

iCoRP は「世代間学習を通じた人間中心 AI 設計の実践」を掲げています。最大の特徴は、高齢者を「教えられる側」「ユーザー」ではなく「共同デザイナー」として位置づけている点にあります。高齢者が持つ豊かな生活の知恵や経験を、iU の若者イノベーターが持つ技術力と掛け合わせることで、真に使いやすく、社会に役立つ AI ソリューションの創出に反映される仕組みを構築します。

■主な取り組み

- **学習セッション(基礎)**: 高齢者が若者イノベーターのサポートを受けながら、AI の知識・スキルを体験的に学ぶ場です
- **学習セッション(対話)**: iU が開発した検証ツール(プロトタイプ)を活用した対話と議論の場です。高齢者と若者が混成チームとなり、高齢者の生活課題を深く探ります
- **共創セッション**: 高齢者と若者が共同デザインセッションを行い、高齢者のニーズを反映した AI プロトタイプの共同開発を行います
- **ビジネスプランコンテスト**: 若者が高齢者のニーズを活かした AI ビジネスプランを競い、優秀提案へのプロトタイピング支援を行います

■ iU の強みと独自性

iU は 2024 年度の学生起業率 5.59%(全国 1 位、2 位の約 4 倍)を誇る「起業エコシステム」を有する専門職大学です。本プロジェクトでは、この強みを最大限に活用し、上記の取り組みを推進します。

■ プロジェクト終了後の展望

- **iU 発スタートアップとの連携**: 2024 年度までの総起業社数 85 社におよぶ iU 発スタートアップと連携していきます
- **高齢者ユーザーテストラボ**: 2026 年 5 月に iU 内に設置。対面インタビューや行動観察を通じて、高齢者のリアルなフィードバックを体系的に収集・蓄積する体制を構築します

■ プロジェクトリーダーのコメント

梶田 尚亨(くにぎた ひさゆき) iU 教授(プロジェクトリーダー)

日本は超高齢社会という『課題』を抱えています。見方を変えれば、世界に先駆けて高齢者に寄り添った AI を開発できる最前線にいるとも言えます。iCoRP は、高齢者を『共同デザイナー』として位置づけ、若者イノベーターとの世代間学習を通じた共同デザインセッションにより AI アプリ/サービスの開発を加速させるプログラムです。iCoRP という誰も行なったことのない世代間共創の実践モデルを日本から世界へ発信したいと考えています。

■ 学長コメント

中村 伊知哉 iU 学長

iU は学生起業率日本一という実績が示す通り、若者の挑戦を実装へとつなぐ大学です。今回のプロジェクトは、その実装力を超高齢社会の課題解決に向けた最高の舞台だと考えています。高齢者が共同デザイナーとなって AI 開発に参画するという、誰も経験したことのない学習の場を生み出すことで、iU の学生にとっても、そして参加して下さる高齢者の皆さんにとっても、かけがえのない学びと出会いが生まれると確信しています。

<大学概要>

■大学・学部学科名

- ・大学名：「情報経営イノベーション専門職大学」 ※愛称「iU（あいゆう）」
- ・学部名：情報経営イノベーション学部 情報経営イノベーション学科

ICT・ビジネス・グローバルな視点について学び、新しい時代を創る人材を育成。さらに必修科目として約4か月間の臨地実務実習も経験し、将来の起業や就職を見据えたキャリアビジョンの具現化につなげている。

iUホームページ：<https://www.i-u.ac.jp/>

■学長

中村 伊知哉（なかむら いちや）



京都大学研究員、東京大学研究員、デジタル政策財団理事長、CiP協議会理事長、国際公共経済学会会長、日本eスポーツ連合特別顧問、理化学研究所コーディネーターなどを兼務。

1984年、ロックバンド「少年ナイフ」のディレクターを経て郵政省入省。MITメディアラボ客員教授、スタンフォード日本センター研究所長、慶應義塾大学教授を経て、2020年4月よりiU学長。

内閣官房、内閣府、総務省、文部科学省、経済産業省などの参与・委員を歴任。

著書に『新版 超ヒマ社会をつくるーアフターコロナはネコの時代ー』（ヨシモトブックス）、『コンテンツと国家戦略』（角川EPUB選書）など多数。

1961年生まれ。京都大学経済学部卒、大阪大学博士課程単位取得退学。博士（政策・メディア）。

■所在地

- ・墨田キャンパス：東京都墨田区文花1-18-13



- ・学生数：655名 ・基幹教員数：31名（2026年2月末時点）

■教育理念

「変化を楽しみ、自ら学び、革新を創造する。」

■ 学びの特色

「ICT」「ビジネス」「グローバル」この3つが学びの柱

① アプリ設計・開発、データサイエンスなどの技術を修得する【ICT】

急速に進化する世界で自身のアイデアを形にし、世界へ発信する力となるデジタル技術を身に付ける
プログラミングやデータ処理、ネットワークといった基礎技術から、AI、データサイエンスなどの最新領域をカバーするカリキュラムを展開

② 組織管理やマーケティング、会計・財務などを学ぶ【ビジネス】

ビジネスの仕組みを理解し、マーケティング、マネジメント、財務、法務などの専門知識を学習
さらに、必修科目「イノベーションプロジェクト」を通じて、課題発見からビジネスプランの立案までを繰り返し学ぶことで、実践力を身に付ける

③ 国際感覚や語学力を自分のものにする【グローバル】

卒業後に現場で生きるビジネス英語を中心に、異文化理解、国際情報やグローバルビジネスを学び、ボーダーレスな共創・活躍を実現するための多角的な国際感覚を養い、英語でのビジネスピッチが行えるまでを学び、実社会で活躍できる人材を育成

■ 育成人材像

- ・ICTを活用する様々な業界・団体において課題を解決し、新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことのできる人材
- ・ICTを活用し新たな商品・サービスやビジネスを生み出すことで、国際社会と地域社会の産業発展に貢献する起業家

【本リリースに関するお問い合わせ先】

iU 情報経営イノベーション専門職大学 TEL : 03-5655-1555 E-mail : info@i-u.ac.jp